

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【中尾小学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)つなげたり比べたり重ねたりして考える資質・能力 (2)自らの学習を調整することができる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)自分の考えと友達の考えを比較し、共通点や相違点を見付けながら学びを深めていく授業の実施。【各単元の中で1回以上】 (2)課題解決の過程における自分の学び方や疑問に思ったことなどについて振り返ることができる時間の設定。【単元末】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
		↓
今年度の成果と 次年度の課題		①目標の達成状況 ②向上策の妥当性 結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・国語の「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる」問題に課題がみられた。解答類型と反応率をみると、指定された一文(考え)と合わない内容の事例を選んでしまっている児童が多かった。 ・算数の「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題に課題がみられた。解答類型と反応率をみると、大小の判断はできてもその理由を記述できていない児童が多かった。
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	・伝えたい事柄とその事例とを適切に結び付けることに課題がみられる。 ・異分母の分数の大小を適分して比較することに課題がみられる。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	学力向上策(1)・(2)ともに実施することができる。
	B	
↓		
学力向上策の 見直し	(変更なし)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所